



札幌大学孔子学院  
062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1

# 道民カレッジ連携講座

〔演題、講演要旨、講師紹介〕 孔子学院連続講座～現代中国の経済と社会を知る～

第3回 平成29年7月14日(金)16:30～

演題 : 中国中間層の消費像と北海道の商機  
講師 : 汪志平<sup>おうしへい</sup> Wang Zhiping  
(札幌大学経営・会計学系教授)



## 講演要旨 :

中国は13億人超の人口を抱える巨大消費市場であるが、過去を振り返ると、消費は決して経済成長の牽引役とは言えなかった。しかし、30年余り続けてきた高度成長から安定成長に突入してからは、消費が初めて投資を上回り、今後中国経済成長の主エンジンとして注目されている。

現在中国政府が後押しする消費市場のキーワードは「都市化」「産業転換」「社会保障強化」である。戸籍制度改革が進めば、農村から都市への労働人口の移動障壁が取り除かれる。産業構造転換の推進は、サービス業の拡大とホワイトカラーの増大に寄与し、所得の増加にも繋がっていく。また、教育・医療・住宅などの社会保障制度が拡充すれば、将来の不安なく活発に消費できるであろう。

急成長を維持する中国の消費市場は、ここ数年で質的にも大きな変化を遂げてきた。特に中間層の存在感は大きくなっており、日本でも訪日旅行者による爆買いが話題になっているが、その消費力は海外へも波及している。中国の中間層は、国内の消費を担うのみならず、世界の消費市場にも大きな影響を与える存在になりつつある。

今回の講座では、まず中国消費市場の全体像を概観して、次に中間層に焦点を絞り、その消費像を浮き彫りにする。中間層はすでに価格より、品質・安全性を重視し、「生活改善型」「嗜好型」「理性的」消費価値観に移行しつつあり、またスマートフォンと微信・微博などのSNSの普及、ネット通販の発達、流通市場に異変をもたらしている。最後に、価値転換が進む中国の消費者・旅行者にとって、北海道の自然・産業・文化の魅力を考え、道内企業や地域のビジネスチャンスを探ってみたい。

## 講師略歴 :

1963年中国安徽省生まれ、清華大学自動化系卒業後、清華大学経済管理学院修士課程入学、1986年政府派遣で来日、福島大学大学院経済学研究科修士課程、北海道大学大学院博士課程修了、博士(経済学)。1993～95年北海道大学経済学部助手。1995年札幌大学経営学部専任講師、1997年助教授、2002年に教授。1999～2000年ハーバード大学客員研究員。(日本)証券経済学会理事。主著:『中国の株式会社制度と証券市場の生成』(共著)、『日本巨大企業の行動様式』、『コーポレート・ガバナンスの国際比較』(共著)、『現代経営学』(共著)、『企業論入門』など。